

# 頌春2007



初春の吾妻連峰



発行所  
 社福島県電設業協会  
 発行人 大槻賢彌  
 〒960-8114  
 福島市松浪町9-6  
 (福島県電協会館)  
 TEL(024)533-6226  
 FAX(024)533-6235  
 編集印刷 南福島タイムズ社  
 福島市御山字井戸上64-5

## 新たななる飛躍を期す

### ものを言う地元企業群へ



社福島県電設業協会  
 会長 大槻賢彌

新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては、本年がよい年であります事を、ご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと水谷建設から端を発し当県知事の逮捕に至った官制談合事件は、当県及び建設業関連企業に大きなダメージを与えました。発注者も受注者もコンプライアンスを導入した大幅な改革を求められております。本協会でも充分な検討を行い、的確に対処して行きたいと思っております。また、それを無くしては、企業の存続も危ぶまれる状況にあります。

採用の「条件付一般競争入札」とし、本年10月から完全実施とあり、「談合の再発防止」と「高品位の公共調達」が目的とあります。

「日本でもトップクラスの入札方式を目指す」(県知事)とあります。「公共工事の契約の有り方」の中に「入札参加資格者を概ね五十社程度確保するなど、競争性に充てるなど、競争性を確保する」など、競争性を確保する地域要件を設計金額に応じて設定する。地域要件は競争性の確保が図られる範囲内において設定するものとし、県内建設業者の育成の観点も踏まえ、県内業者の技術力等で施工可能なものについては、県内業者で対応する事を原則とする」とあり、この事は地方企業の経営安定、

昨年十二月二十八日に発表された県の新入札基本方針は、国土交通省と同様に「総合評価方式」



福島県総合設備協会設立総会

発展、地域活性化に大きな力と希望を持てる事になります。

入札制度の改革案に対し、業者側の考えを述べたいと思っております。

一、積算条件の開示  
 二、予定価格の入札前公表の中止  
 三、総合評価方式での「価格要素」と「非価格要素」の比率を五十%対五十%にする。  
 四、非価格要素に地域貢献要素を入れる  
 五、不適格業者を排除するため調査価格を設け、下回った者に対するペナルティを国土交通省並みにする  
 六、非価格要素の入札後

の開示  
 七、入札前の相入札者名の非公表  
 改革案の中に以上の事を勘案して頂ければ、談合や悪意のある通報等を防止でき、地元業者でも大手企業と互角に戦える土俵が出来ると思えます。公共調達の目的は、「良質な公共財提供」と「良質な公共財提供」とが有り、同時に満足する事になります。

昨年は、「現状打破への四目標」として  
 一、研修事業の効率化  
 二、地域との共生  
 三、技術提案型企業への脱却を目指して  
 四、設備三団体の連携の

強化  
 一、掲げ、随時実行して参りました。特に四に關しましては、昨年六月に設備三団体が「設備はひとつ」の合言葉のもとに「福島県総合設備協会」を設立いたしました。一と三は満足が行く結果になりましたが、二に關しましては県の対応が遅く、各市町村とも県の出方待ちの状態です。一、二、三は本年度も継続いたします。

オンブズマンをつくり堂々主張  
 本年度の抱負  
 ◎新たな飛躍  
 一、ものを言う地元企業群へ  
 地元企業の声を正確に伝える手段として、オンブズマンをつくり正々堂々と主張する。  
 二、CMを採用した民間

「設備は一つ」を合い言葉に効率性と実効性のある事業展開を目指す。設立からこれまでに国土交通省の竹歳誠総合政策局長や亀岡偉民衆議院議員を招いての講演会、また、浜通りでは方部技術研修会なども開催している。

三団体が結束し前進  
 県総合設備協会の活動  
 県総合設備協会は、昨年六月二十六日に当協会(大槻賢彌会長)と(株)真空調衛生工業協会(有賀敬四郎会長)並びに県設備設計事務所協会(八行)で行っている。

発案型PFI事業の促進と事業化への努力  
 各自治体においてもPFI事業化は考慮されていると思う。  
 昨年にも増して建設業・関連団体と協力を密にし、PFI事業の提案を推進する。  
 三、民間工事の一定以上の物件において、CM方式の採用を促進する  
 現行の一括発注方式下ではピン撥ねが常態化し、地元の専門工事業者は採算を度外視した赤字受注を強いられている。  
 この事は、福島県のみならず、全国的な問題だと思ふ。  
 打開策として、我々の声を代弁する国会議員の方達に、全国的なネットワークを作っていたいただき、強く国土交通省と交渉し、CM方式の導入の実現に努力して貰う事だと思ふ。

**TOSHIBA**  
 明るく、スリムで、長寿命。  
 東芝薄型照明器具  
**ネオスリムV**  
 東芝ライテック株式会社  
 郡山営業所 TEL(024)922-5511

謹賀新年  
 本年も相変わらぬご指導ご支援をお願いいたします  
 社団法人 福島県電設業協会

**National**  
 美しいスッキリとしたフォルムに、安全のための高性能を搭載。  
**ナショナル誘導灯 コンパクトスクエア**  
 リモコン自己点検機能付  
 FA10119 (内照パネル式) (本体FA10119ENL、表示板1枚の組み合わせ) 本体希望小売価格 30,240円 (税抜28,800円) (リモコン別売: FSK90910希望小売価格9,450円 (税抜 9,000円))  
 ○資料のご請求は、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工(株)福島営業所 TEL.024-939-7731まで。  
 照明と電気設備の情報がご覧になれます。 [biz.national.jp/Ebox/yudoto](http://biz.national.jp/Ebox/yudoto)

すっきり、新デザイン。新コンパクトスクエア、誕生。  
 正面、スッキリ。  
 側面、スッキリ。  
 リモコン機能で、もっとラクラク点検。  
 松下電工



新しい年の初めに当たり、県民の皆さまの御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年十一月の選挙で多くの皆さまから御支持をいただき、知事に就任し一月半が経過し、皆さまとともに新しいふくしまを創り上げていくこの思いを強くしております。

昨年の県発注公共工事に絡む一連の不祥事は、県政に対する県民の皆さまの大きな不信を招くことになりました。談合は決して許されるものではなく、県議会における議論や入札等制度検証委員会の

意見が踏まえ、一般競争入札の全面的導入を柱とする、公正で透明性・競争性の高い入札制度への改革を早急に進め、その失われた信頼の回復に努めてまいります。

また、私自身が現場に出向き、皆様のお声を直接お聞きするなど、開かれた県政への取り組みを進め、「さわやかで明るい県政」を実現してまいります。

現在、わが国は戦後最長の景気回復期にあると言われながら、雇用や教育、地域間の格差が広がり、私たちは豊かさを実感できずに

います。私はそうした格差を是正し「賑わいとやすらぎのある豊かな福島県」を実現するため、次の三つの柱を県政の基本方針として、具体的な施策に取り組んでまいります。

第一は「地域の特色を生かした活力ある県づくり」であり、産業の振興と雇用の確保のため、県内企業の技術力強化、人材育成をはじめ、本県の特長を

り組み、地域の活性化を図ってまいります。また、本県の基幹産業である農林水産業についても、担い手の育成や特産品の育成などに力を入れてまいります。

第二は「安全・安心が支える住み心地の良い県づくり」であり、くらしの安全・安心を確保するため、県立医科大学卒業生の県内定着率をさらに高めるな

るとともに、プルサーマル計画については、広く県民の皆様の御意見を聴きながら、慎重に対応してまいります。

第三は「人にも自然にも心豊かな、思いやりが息づく県づくり」であり、環境との調和、一人一人の生き方や人権や人格の尊重を基本に、仕事と育児が両立でき安心して子どもを生み育てられる環境づくり、高齢者・障がい者の福祉の充実、さらには、学校、家庭、社会が一体となり、知育、徳育、体育のバランスの取れた人

間性豊かな子どもの育成に努めてまいります。

こうした県づくりを推進し、県民誰もが「生まれて良かった」「育って良かった」「住んで良かった」と思えるような日本一の福島県を築いていくため、地方分権への取り組みに力を注ぎながら、一つの課題に誠心誠意、全力で取り組んでまいります。今後とも県政運営に対する一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

## 燃料電池設備を視察

### 当協会技術委員会が実施

当協会技術委員会は、昨年十一月二十一日に茨城県取手市にあるキリンビール(株)取手工場で先進地視察を行い、燃料電池設備を見学した。

技術委員らは、燃料電池装置の模型で説明を受けた後、工場内の燃料電池設備を見学、現場研修し、最後に質疑応答を行った。

広大な敷地の中にある燃料電池設備は、意外にもコンパクトであった。日本燃料電池(株)・伊藤英司氏の説明では、これは米国ヒューエルセルエナジー社が開発製造してい

る溶融炭酸塩形燃料電池で、販売及保守を実施しているのは、丸紅(株)の完全子会社である同社であるとの事。

取手工場を含め国内で

この工場は二五〇キロワットだから二億円の投資となる。減価償却は十五年、メンテナンスは年に四回程度で五百万円から六百万円の維持費がかかるそうである。日本での販売実績も増えてくれば価格的にも、効率的にも優れたものがでてくると思う。

環境マネジメントが叫ばれる中、排水を利用したメタンガスによる発電が出来ることは素晴らしい。(技術委員・青田純)

は、八台の納入実績があり今年度は六台の設置を予定しているそうだ。

ビール工場より発生するメタンガスを利用して脱硫酸、ガスホルダー、メタン圧縮機を通して二五〇キロワットの溶融炭酸塩型燃料電池に送り発電する。工場の排水を利用し、嫌気性排水処理装置からメタンガスを取り出し発電するのが特徴だ。発電効率は四五%、高温の蒸気は一六%から一七%利用でき、総合効率は六〇%。

設備投資としてはキロワットあたり八十万円で

な自然、多様な風土に育まれた伝統や文化などの地域資源を生かして、定住・二地域居住の推進、優良企業の誘致、県産品の販路拡大、観光振興などに取

り組み、地域の活性化を図ってまいります。

また、本県の基幹産業である農林水産業についても、担い手の育成や特産品の育成などに力を入れてまいります。

第二は「安全・安心が支える住み心地の良い県づくり」であり、くらしの安全・安心を確保するため、県立医科大学卒業生の県内定着率をさらに高めるな

るとともに、プルサーマル計画については、広く県民の皆様の御意見を聴きながら、慎重に対応してまいります。

第三は「人にも自然にも心豊かな、思いやりが息づく県づくり」であり、環境との調和、一人一人の生き方や人権や人格の尊重を基本に、仕事と育児が両立でき安心して子どもを生み育てられる環境づくり、高齢者・障がい者の福祉の充実、さらには、学校、家庭、社会が一体となり、知育、徳育、体育のバランスの取れた人

## 燃料電池設備を視察

### 当協会技術委員会が実施

当協会技術委員会は、昨年十一月二十一日に茨城県取手市にあるキリンビール(株)取手工場で先進地視察を行い、燃料電池設備を見学した。

技術委員らは、燃料電池装置の模型で説明を受けた後、工場内の燃料電池設備を見学、現場研修し、最後に質疑応答を行った。

広大な敷地の中にある燃料電池設備は、意外にもコンパクトであった。日本燃料電池(株)・伊藤英司氏の説明では、これは米国ヒューエルセルエナジー社が開発製造してい

る溶融炭酸塩形燃料電池で、販売及保守を実施しているのは、丸紅(株)の完全子会社である同社であるとの事。

取手工場を含め国内で

この工場は二五〇キロワットだから二億円の投資となる。減価償却は十五年、メンテナンスは年に四回程度で五百万円から六百万円の維持費がかかるそうである。日本での販売実績も増えてくれば価格的にも、効率的にも優れたものがでてくると思う。

環境マネジメントが叫ばれる中、排水を利用したメタンガスによる発電が出来ることは素晴らしい。(技術委員・青田純)

は、八台の納入実績があり今年度は六台の設置を予定しているそうだ。

ビール工場より発生するメタンガスを利用して脱硫酸、ガスホルダー、メタン圧縮機を通して二五〇キロワットの溶融炭酸塩型燃料電池に送り発電する。工場の排水を利用し、嫌気性排水処理装置からメタンガスを取り出し発電するのが特徴だ。発電効率は四五%、高温の蒸気は一六%から一七%利用でき、総合効率は六〇%。

設備投資としてはキロワットあたり八十万円で

な自然、多様な風土に育まれた伝統や文化などの地域資源を生かして、定住・二地域居住の推進、優良企業の誘致、県産品の販路拡大、観光振興などに取

り組み、地域の活性化を図ってまいります。

また、本県の基幹産業である農林水産業についても、担い手の育成や特産品の育成などに力を入れてまいります。

第二は「安全・安心が支える住み心地の良い県づくり」であり、くらしの安全・安心を確保するため、県立医科大学卒業生の県内定着率をさらに高めるな

るとともに、プルサーマル計画については、広く県民の皆様の御意見を聴きながら、慎重に対応してまいります。

第三は「人にも自然にも心豊かな、思いやりが息づく県づくり」であり、環境との調和、一人一人の生き方や人権や人格の尊重を基本に、仕事と育児が両立でき安心して子どもを生み育てられる環境づくり、高齢者・障がい者の福祉の充実、さらには、学校、家庭、社会が一体となり、知育、徳育、体育のバランスの取れた人

## 燃料電池設備を視察

### 当協会技術委員会が実施

当協会技術委員会は、昨年十一月二十一日に茨城県取手市にあるキリンビール(株)取手工場で先進地視察を行い、燃料電池設備を見学した。

技術委員らは、燃料電池装置の模型で説明を受けた後、工場内の燃料電池設備を見学、現場研修し、最後に質疑応答を行った。

広大な敷地の中にある燃料電池設備は、意外にもコンパクトであった。日本燃料電池(株)・伊藤英司氏の説明では、これは米国ヒューエルセルエナジー社が開発製造してい

る溶融炭酸塩形燃料電池で、販売及保守を実施しているのは、丸紅(株)の完全子会社である同社であるとの事。

取手工場を含め国内で

この工場は二五〇キロワットだから二億円の投資となる。減価償却は十五年、メンテナンスは年に四回程度で五百万円から六百万円の維持費がかかるそうである。日本での販売実績も増えてくれば価格的にも、効率的にも優れたものがでてくると思う。

環境マネジメントが叫ばれる中、排水を利用したメタンガスによる発電が出来ることは素晴らしい。(技術委員・青田純)

は、八台の納入実績があり今年度は六台の設置を予定しているそうだ。

ビール工場より発生するメタンガスを利用して脱硫酸、ガスホルダー、メタン圧縮機を通して二五〇キロワットの溶融炭酸塩型燃料電池に送り発電する。工場の排水を利用し、嫌気性排水処理装置からメタンガスを取り出し発電するのが特徴だ。発電効率は四五%、高温の蒸気は一六%から一七%利用でき、総合効率は六〇%。

設備投資としてはキロワットあたり八十万円で

な自然、多様な風土に育まれた伝統や文化などの地域資源を生かして、定住・二地域居住の推進、優良企業の誘致、県産品の販路拡大、観光振興などに取

り組み、地域の活性化を図ってまいります。

また、本県の基幹産業である農林水産業についても、担い手の育成や特産品の育成などに力を入れてまいります。

第二は「安全・安心が支える住み心地の良い県づくり」であり、くらしの安全・安心を確保するため、県立医科大学卒業生の県内定着率をさらに高めるな

るとともに、プルサーマル計画については、広く県民の皆様の御意見を聴きながら、慎重に対応してまいります。

第三は「人にも自然にも心豊かな、思いやりが息づく県づくり」であり、環境との調和、一人一人の生き方や人権や人格の尊重を基本に、仕事と育児が両立でき安心して子どもを生み育てられる環境づくり、高齢者・障がい者の福祉の充実、さらには、学校、家庭、社会が一体となり、知育、徳育、体育のバランスの取れた人

## 燃料電池設備を視察

### 当協会技術委員会が実施

当協会技術委員会は、昨年十一月二十一日に茨城県取手市にあるキリンビール(株)取手工場で先進地視察を行い、燃料電池設備を見学した。

技術委員らは、燃料電池装置の模型で説明を受けた後、工場内の燃料電池設備を見学、現場研修し、最後に質疑応答を行った。

広大な敷地の中にある燃料電池設備は、意外にもコンパクトであった。日本燃料電池(株)・伊藤英司氏の説明では、これは米国ヒューエルセルエナジー社が開発製造してい

る溶融炭酸塩形燃料電池で、販売及保守を実施しているのは、丸紅(株)の完全子会社である同社であるとの事。

取手工場を含め国内で

この工場は二五〇キロワットだから二億円の投資となる。減価償却は十五年、メンテナンスは年に四回程度で五百万円から六百万円の維持費がかかるそうである。日本での販売実績も増えてくれば価格的にも、効率的にも優れたものがでてくると思う。

環境マネジメントが叫ばれる中、排水を利用したメタンガスによる発電が出来ることは素晴らしい。(技術委員・青田純)

は、八台の納入実績があり今年度は六台の設置を予定しているそうだ。

ビール工場より発生するメタンガスを利用して脱硫酸、ガスホルダー、メタン圧縮機を通して二五〇キロワットの溶融炭酸塩型燃料電池に送り発電する。工場の排水を利用し、嫌気性排水処理装置からメタンガスを取り出し発電するのが特徴だ。発電効率は四五%、高温の蒸気は一六%から一七%利用でき、総合効率は六〇%。

設備投資としてはキロワットあたり八十万円で

な自然、多様な風土に育まれた伝統や文化などの地域資源を生かして、定住・二地域居住の推進、優良企業の誘致、県産品の販路拡大、観光振興などに取

り組み、地域の活性化を図ってまいります。

また、本県の基幹産業である農林水産業についても、担い手の育成や特産品の育成などに力を入れてまいります。

第二は「安全・安心が支える住み心地の良い県づくり」であり、くらしの安全・安心を確保するため、県立医科大学卒業生の県内定着率をさらに高めるな

るとともに、プルサーマル計画については、広く県民の皆様の御意見を聴きながら、慎重に対応してまいります。

第三は「人にも自然にも心豊かな、思いやりが息づく県づくり」であり、環境との調和、一人一人の生き方や人権や人格の尊重を基本に、仕事と育児が両立でき安心して子どもを生み育てられる環境づくり、高齢者・障がい者の福祉の充実、さらには、学校、家庭、社会が一体となり、知育、徳育、体育のバランスの取れた人

人と環境を明日につなぐ、ニノテックのシステムエンジニアリング

情報・通信・制御・計装

## 株式会社ニノテック

代表取締役社長 樽川次男

本社/〒963-8577 郡山市島二丁目44-2  
TEL(024)935-1700 FAX(024)935-1706

拠点/仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

---

換気扇・照明器具・空調機  
オール電化品・太陽光発電

## 三菱電機住環境システムズ株式会社

福島支店

TEL(024)959-6060  
FAX(024)959-6066

ディーゼル発電機 ガスタービン  
コージェネレーションシステム

## ヤンマーエネルギーシステム株式会社

いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四-一

TEL(024)581-5811  
FAX(024)581-5811

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

## 岡田電気産業株式会社

【本社】  
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27  
TEL(0246)25-6111 FAX25-6101

営業所

白河	TEL(0248)27-3385(代)
須賀川	TEL(0248)72-7136(代)
西原	TEL(024)952-5455(代)
郡山南	TEL(024)923-3298(代)
郡山北	TEL(024)939-3081(代)
郡山	TEL(0242)37-2660(代)
会津	TEL(0244)22-5105(代)
津町	TEL(0244)35-1234(代)
相馬	TEL(024)546-3700(代)
福島東	TEL(024)553-1181(代)
福島南	TEL(0246)28-6111(代)
いわき	TEL(0246)62-3122(代)
勿来	TEL(0246)62-3122(代)

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・栃木県内・新潟県内29カ所  
住設建材営業所 6カ所



# 支部長の年頭所感

福島支部

## 信頼される施工能力

福島支部長

大室 功



新年明けましておめでとうございます。心新たに新年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

平素は、福島支部の運営に会員の皆様方には、格別のご支援・協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

建設業界を取り巻く経営環境は、一部の地域では回復してきたとの報道がありますが、地方の建設業は、年々厳しくなり景気の回復も期待できないのが現状でございます。

各社企業努力に努めて

今年も  
よろしくお祈りします



信頼される施工能力を身に付け、工事の受注に結びつく様努力して行きたいと思っております。厳しい年には厳しいなりに新たな希望を持って、各社が企業努力、経営の安定に努め、会員相互の親睦と結束を一層強化して、実りの多い年にしていただくと祈念申し上げます。

「今年もよろしくお祈りします」

否、できない日本「文春文庫に詳しい）日本の借金が八百兆、米国債が五百兆、差し引き三百兆が本当の負債。ただ資産がいくらあるか分からない。更に国連への拠出金が理事国にもなれない日本の負担が米国に次いで二十％。理事国である中国が僅か一％、こんな状況の中で増税路線、何か変だ！」

現実を直視している私達、市場原理主義の行きつく果ては共倒れ、日本の国が持っている共存共生の思想は何処へ行ったのか、根底から覆へされようとしています。社会の成り立ちが夫婦親子など、小さな共同体から形成されて行きます。社会の歪みは、根底の部分から修復して行く事が大切で、私達の業界も同じです。

## 白河支部

白河支部長

石川 巨



## 巻頭について思うこと

日本の和釘の中に「まき」がいらすと呼ばれる釘があります。長さ二十七センチ程、頭の部分が、の字形に造られていて、この釘の頭を潰さな

日本は和釘の中に「まき」がいらすと呼ばれる釘があります。長さ二十七センチ程、頭の部分が、の字形に造られていて、この釘の頭を潰さな

中、今まさに市場原理主義一辺倒、米国の年次改革要請書に記載されている筋書き通りに進められている事、ご存知ですか？。この事は（※）拒

## 郡山支部

郡山支部長

## 社会貢献を念頭に

郡山支部長

壁谷 忠 夫



我々電設業界を取り巻く環境が一段と厳しさを増している中、景気は「いざなぎ景気」の五十七ヶ月を抜いたという報道が巷で流れています。私達の業界だけでも、現況は確かに仕事量は増えてきておりますし、

労働力も人手不足になってきております。ただそれが請負金額に跳ね返ってきてはいけません。いざなぎ景気、ましてこのところ原油から素材などに広がった資源価格高騰によって業界を問わず、倒産する会社の数が増えています。

電設業界も多分にもれず、資材の高騰が続いており、それが請負工事の金額に転嫁出来ないのが現状で、益々厳しい状況に陥っていると思われま

## 発展と改善の道を模索

いわき支部長

坂本 幹 夫



あけましておめでとうございます。昨年は何かと皆様にはお世話になりました。本年も皆様とともに、なおいっそう協会の運営に努めていくつもりです。ご協力の程宜しくお願いいたします。

昨年の当業界は、社会情勢の変化による公共工事の大幅縮減、入札制度

全な業界の姿へと変身を遂げ、常に社会に貢献出来る様、新しい年を節目として、仁義礼智信を基に、一歩ずつ前進をして行きたい。

今年も、技術力の向上、施工能力の向上、信頼性の確保等を目的とした社員教育の充実を図り、業界全体の発展につなげ、協会が本来の使命として、大手に対抗できつつある地元業界の育成の

## 会津支部

会津支部長

## 設備三団体で受注確保

会津支部長

渡部 光一郎



年末ぎりぎりまで雪の少なかった会津地方は静かです。新年を迎える事ができました。希望に満ちた一年の始まりです。年頭の挨拶や今年の動向予測など、景気の好調がつつくも、二極化が益々進む等と耳にしました。県も入札制度が変

昨年市町村合併後、注目が集まりました。注目が集まりました。注目が集まりました。

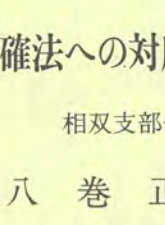
入札制度は、制限付一般競争入札制度に変わって、二年半が過ぎましたが、平成十八年度の会津若松市の優良工事の表彰の中に電気工事部門が選ばれておりませんでした。

前年に協会のメンバーが施工した工事が無かつ

## 相双支部

相双支部長

八巻 正 隆



## 品確法への対応が重要

不況の余波が続く中、各関係機関においても、事業予算の大幅縮小に加えて民間需要の落ち込み等により、工事受注量が

た事もありますが、新しい入札制度の中で技術力に欠けた会社を受注、施工していた事も明らかです。

協会としては空衛協、会津支部との合同勉強会も企画し、設備三団体として共に今まで培ってきた技術力と団結力で仕

共にも本格的に適用処置がなされ、今後、県・市町村においても、これらを採用したものに順次転換されるであろうと思っております。これらを踏まえて、私共受注者側は、目前の品確法の目的及び本質を理解し、基本方針及びガイドラインを熟知しなければ、今後の企業存立さえも危ぶまれるとの見解で

協会は技術者の集団であり、常に新しい時代に



# 初音

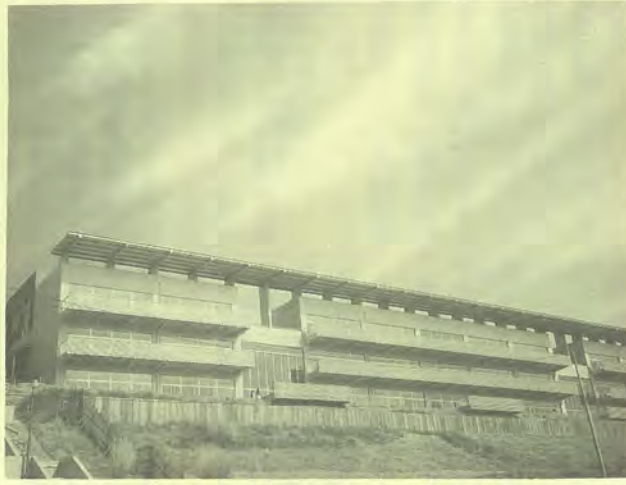
代にならうとも電設業界が不要の社会が到来するとは考えられず、各社が

代にならうとも電設業界が不要の社会が到来するとは考えられず、各社が



# ともに考え、ともにつくる

## 県環境共生建築計画・設計指針



いわき光洋高校の太陽光発電設備

### 温室効果ガスを削減

#### 評価ツールで環境負荷測る

##### 省エネ対策推進

【はじめに】  
 【指針策定の経緯】  
 二十一世紀、地球温暖化をはじめとする環境問題は、地球温暖化の原因と

題は国境の枠を超えた取り組みが求められており、二〇〇五年二月十六日に「京都議定書」が発効された。本県も、福島県新長期総合計画「つつししま21」及び「つつししま建設プラン21」において、地球の一員としての立場から環境問題を考え、これまでの物質的に豊かなライフスタイルそのものを見直しながら、環境への負荷の少ない「持続的発展が可能な地域社会の形成」に向けた取り組みを続けている。

【指針の目的】  
 世界的な問題である二酸化炭素排出量の削減など、建築物のライフサイクルを通じてあらゆる環境負荷の低減に配慮し、省エネ対策を推進する。自然と共生する環境負荷の少ない社会の形成に貢献し、地球にやさしい取り組み、地球にやさしい「いづしま」を目指す。本指針では、省エネ対策等の環境負荷を低減する技術を率先して導入し、「環境と共生」する県有建築物の取組を促し、さらに、市町村や民間等においても建築物を計画・設計する際に、本指針を活用し、環境負荷の低減を図ることも目的としている。

【指針の特徴】  
 ▼環境共生建築に求められるテーマを五つに体系化した。  
 ▼環境問題の中でも、さしせまって重要な課題である地球温暖化対策に焦点を絞り、建築物の建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【指針策定の趣旨】  
 これまで、「環境」への取組は、個々の建築物での対応となっていたが、県有建築物全体としての一貫した整備手法の確立と総合的な評価を行うために、環境共生建築に必要な技術の体系化、県有建築物に係る環境負荷の評価・分析を行うことを趣旨とした。

【基本事項】  
 1 基本方針  
 経済性を考慮しながら、福島県に与えられる自然の恩恵を最大限に活用し、建築物の計画から建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【環境共生に係る技術】  
 湯の利用を図る。  
 ① 地域気象条件を考慮し、太陽光発電、太陽熱給湯の採用を図る。  
 ② 風力発電の利用を図る。  
 ③ バイオマス熱利用を図る。

なる温室効果ガスの削減目標などを定めた「京都議定書」が発効された。本県も、福島県新長期総合計画「つつししま21」及び「つつししま建設プラン21」において、地球の一員としての立場から環境問題を考え、これまでの物質的に豊かなライフスタイルそのものを見直しながら、環境への負荷の少ない「持続的発展が可能な地域社会の形成」に向けた取り組みを続けている。

【指針の目的】  
 世界的な問題である二酸化炭素排出量の削減など、建築物のライフサイクルを通じてあらゆる環境負荷の低減に配慮し、省エネ対策を推進する。自然と共生する環境負荷の少ない社会の形成に貢献し、地球にやさしい取り組み、地球にやさしい「いづしま」を目指す。本指針では、省エネ対策等の環境負荷を低減する技術を率先して導入し、「環境と共生」する県有建築物の取組を促し、さらに、市町村や民間等においても建築物を計画・設計する際に、本指針を活用し、環境負荷の低減を図ることも目的としている。

【指針の特徴】  
 ▼環境問題の中でも、さしせまって重要な課題である地球温暖化対策に焦点を絞り、建築物の建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【指針策定の趣旨】  
 これまで、「環境」への取組は、個々の建築物での対応となっていたが、県有建築物全体としての一貫した整備手法の確立と総合的な評価を行うために、環境共生建築に必要な技術の体系化、県有建築物に係る環境負荷の評価・分析を行うことを趣旨とした。

【基本事項】  
 1 基本方針  
 経済性を考慮しながら、福島県に与えられる自然の恩恵を最大限に活用し、建築物の計画から建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【環境共生に係る技術】  
 湯の利用を図る。  
 ① 地域気象条件を考慮し、太陽光発電、太陽熱給湯の採用を図る。  
 ② 風力発電の利用を図る。  
 ③ バイオマス熱利用を図る。

【はじめに】  
 【指針策定の経緯】  
 二十一世紀、地球温暖化をはじめとする環境問題は、地球温暖化の原因と

【指針の目的】  
 世界的な問題である二酸化炭素排出量の削減など、建築物のライフサイクルを通じてあらゆる環境負荷の低減に配慮し、省エネ対策を推進する。自然と共生する環境負荷の少ない社会の形成に貢献し、地球にやさしい取り組み、地球にやさしい「いづしま」を目指す。本指針では、省エネ対策等の環境負荷を低減する技術を率先して導入し、「環境と共生」する県有建築物の取組を促し、さらに、市町村や民間等においても建築物を計画・設計する際に、本指針を活用し、環境負荷の低減を図ることも目的としている。

【指針の特徴】  
 ▼環境問題の中でも、さしせまって重要な課題である地球温暖化対策に焦点を絞り、建築物の建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【指針策定の趣旨】  
 これまで、「環境」への取組は、個々の建築物での対応となっていたが、県有建築物全体としての一貫した整備手法の確立と総合的な評価を行うために、環境共生建築に必要な技術の体系化、県有建築物に係る環境負荷の評価・分析を行うことを趣旨とした。

【基本事項】  
 1 基本方針  
 経済性を考慮しながら、福島県に与えられる自然の恩恵を最大限に活用し、建築物の計画から建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【環境共生に係る技術】  
 湯の利用を図る。  
 ① 地域気象条件を考慮し、太陽光発電、太陽熱給湯の採用を図る。  
 ② 風力発電の利用を図る。  
 ③ バイオマス熱利用を図る。

【環境共生に係る技術】  
 湯の利用を図る。  
 ① 地域気象条件を考慮し、太陽光発電、太陽熱給湯の採用を図る。  
 ② 風力発電の利用を図る。  
 ③ バイオマス熱利用を図る。

感頭所  
 活力ある地域づくり  
 福島県土木部長  
 蛭田公雄



【はじめに】  
 【指針策定の経緯】  
 二十一世紀、地球温暖化をはじめとする環境問題は、地球温暖化の原因と

【指針の目的】  
 世界的な問題である二酸化炭素排出量の削減など、建築物のライフサイクルを通じてあらゆる環境負荷の低減に配慮し、省エネ対策を推進する。自然と共生する環境負荷の少ない社会の形成に貢献し、地球にやさしい取り組み、地球にやさしい「いづしま」を目指す。本指針では、省エネ対策等の環境負荷を低減する技術を率先して導入し、「環境と共生」する県有建築物の取組を促し、さらに、市町村や民間等においても建築物を計画・設計する際に、本指針を活用し、環境負荷の低減を図ることも目的としている。

【指針の特徴】  
 ▼環境問題の中でも、さしせまって重要な課題である地球温暖化対策に焦点を絞り、建築物の建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【指針策定の趣旨】  
 これまで、「環境」への取組は、個々の建築物での対応となっていたが、県有建築物全体としての一貫した整備手法の確立と総合的な評価を行うために、環境共生建築に必要な技術の体系化、県有建築物に係る環境負荷の評価・分析を行うことを趣旨とした。

【基本事項】  
 1 基本方針  
 経済性を考慮しながら、福島県に与えられる自然の恩恵を最大限に活用し、建築物の計画から建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【環境共生に係る技術】  
 湯の利用を図る。  
 ① 地域気象条件を考慮し、太陽光発電、太陽熱給湯の採用を図る。  
 ② 風力発電の利用を図る。  
 ③ バイオマス熱利用を図る。

【はじめに】  
 【指針策定の経緯】  
 二十一世紀、地球温暖化をはじめとする環境問題は、地球温暖化の原因と

【はじめに】  
 【指針策定の経緯】  
 二十一世紀、地球温暖化をはじめとする環境問題は、地球温暖化の原因と

【指針の目的】  
 世界的な問題である二酸化炭素排出量の削減など、建築物のライフサイクルを通じてあらゆる環境負荷の低減に配慮し、省エネ対策を推進する。自然と共生する環境負荷の少ない社会の形成に貢献し、地球にやさしい取り組み、地球にやさしい「いづしま」を目指す。本指針では、省エネ対策等の環境負荷を低減する技術を率先して導入し、「環境と共生」する県有建築物の取組を促し、さらに、市町村や民間等においても建築物を計画・設計する際に、本指針を活用し、環境負荷の低減を図ることも目的としている。

【指針の特徴】  
 ▼環境問題の中でも、さしせまって重要な課題である地球温暖化対策に焦点を絞り、建築物の建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【指針策定の趣旨】  
 これまで、「環境」への取組は、個々の建築物での対応となっていたが、県有建築物全体としての一貫した整備手法の確立と総合的な評価を行うために、環境共生建築に必要な技術の体系化、県有建築物に係る環境負荷の評価・分析を行うことを趣旨とした。

【基本事項】  
 1 基本方針  
 経済性を考慮しながら、福島県に与えられる自然の恩恵を最大限に活用し、建築物の計画から建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じて、積極的かつ効果的に環境負荷の低減を図りつつ、県内各地域の特性にあわせた総合的な対策を推進する。

【環境共生に係る技術】  
 湯の利用を図る。  
 ① 地域気象条件を考慮し、太陽光発電、太陽熱給湯の採用を図る。  
 ② 風力発電の利用を図る。  
 ③ バイオマス熱利用を図る。

【環境共生に係る技術】  
 湯の利用を図る。  
 ① 地域気象条件を考慮し、太陽光発電、太陽熱給湯の採用を図る。  
 ② 風力発電の利用を図る。  
 ③ バイオマス熱利用を図る。



③ コージェネレーションの採用等、エネルギーの変換及び利用が総合的かつ効率的に実施されるような建築空調システムとする。

電気負荷及び熱負荷の特性について検討し、省エネルギー及び環境負荷の低減が見込める場合は、コージェネレーションの採用を検討する。

④ 電力負荷の低減及び平準化を図る。

⑤ 施設部位に応じた運転制御方式により、搬送エネルギーの最小化を図る。

⑥ 搬送抵抗が小さなシステムを採用するとともに、VAVやインバータ等を利用し負荷の大きさに応じてエネルギー消費が低減されるシステムの採用を図る。

⑦ 高効率照明器具の使用、施設部位に応じた点灯方式の採用等により、照明エネルギーの最小化を図る。

⑧ 高効率照明器具、高周波点灯型安定器、高効率の反射板等の採用を検討するとともに適正な照度設定を図る。初期照度補正機能を用いて必要照度に抑制し、電力消費の低減を検討する。また、人感センサー、タイマー制御などの採用を図る。

⑨ 雨水、または排水処理水の利用、各種節水システムの採用等により、水資源の消費低減を図る。

⑩ 信頼性が高く、適正な運転管理が可能な管理システムの構築により、消費されるエネルギーの最小化を図る。建物の用途、規模等に応じてエネルギーの合理的・効率的な利用を可能とする自動制御・中央監視システムの充実を図る。

⑪ 施設の運用を通じて、施設利用者（執務者、生徒、一般利用者など）に対して、環境教育に活用できる施設づくりを図り、省エネルギー意識の向上を目指す。

### 県土木建築領域

## 多様なニーズに対応

### 平成19年の事業展望

新しい年を迎え、皆様への御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。

また、本県の建築行政の推進につきましては、日ごろより格段の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

一昨年来、宮城沖を震源とする地震、耐震強度偽装問題、アスベストの問題、エレベーター事故など建築物に関する安全性を脅かす事件や事故が発生したことなどを踏まえ、今後とも安全で安心できる生活環境づくりの取組みが一層重要になっ

てくるものと考えております。

平成十九年は、次の視点から県民の多様なニーズに対応した安全で安心できる建築物や居住環境の確保に向けて更なる努力を怠りません。

住宅は量から質へ

昨年六月に住生活基本法が制定され、住宅の「量」の確保から居住環境を含む住生活全般の「質」の向上への政策転換がなされたところであります。県では、昨年策定した住宅マスタープランを

基に、今年三月までに「福島県住生活基本計画（仮称）」を策定し、住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進してまいります。

また、住宅・建築物に関する相談対応、適切な建築確認業務の推進など、県民の皆様が安全で安心して暮らせる建築物や居住環境の確保を目指し、取り組みを進めてまいります。

中心市街地の活性化対策としては、市街地再開発事業等により、コンパ

計画的な耐震化

県民の生命・財産を守る建築物の耐震対策については、昨年改正施行された「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づき「福島県耐震改修促進計画」を策定し、市町村との連携による住宅の耐震診断の促進を含め、計画的な耐震化を進めてまいります。県有施設については、災害時に復旧活動拠点や救急医療施設としての機能を有しており、既存県有施設の耐震化についても関係部局と連携を図りながら計

面的に進めていきたいと考えております。

ストック対策

次に、営繕に関連しては、既存施設のバリアフリーを進める共生のまちづくりを進めるため、約五千六百棟、延べ面積は約二九〇万㎡と膨大な県有施設ストックについて、計画的な維持管理等による既存施設の有効活用（ストックマネジメント）の考え方による取組みを進め、「永く生きる建築」の実現に向け、更なる努力を怠りません。

また、昨年は建築物のライフサイクル（建設・運用・解体）を通じて発生する二酸化炭素排出量

削減などを目的とした「福島県環境共生建築計画・設計指針」を策定いたしました。本指針に基づき県有施設における環境負荷低減を進めるとともに、民間や市町村等の建築物にも活用いただきたく普及を図ってまいりたいと考えております。

今後、「ともに考え、ともにつくる美しい住まいるまち」の実現に向け、県民・NPO・民間事業者・市町村等と連携した住まいるまちづくりを展開するとともに、県有施設についても「永く生きる建築」をキーワードとして、次世代に継承し得る質の高い建築空間の整備を目指してまいりますので、皆様への御支援、御協力をお願い申し上げます。

今後、「ともに考え、ともにつくる美しい住まいるまち」の実現に向け、県民・NPO・民間事業者・市町村等と連携した住まいるまちづくりを展開するとともに、県有施設についても「永く生きる建築」をキーワードとして、次世代に継承し得る質の高い建築空間の整備を目指してまいりますので、皆様への御支援、御協力をお願い申し上げます。

### 省エネ対策など 質議・提案を行う 県営繕職員との研修会



当協会は、昨年十二月二十二日に郡山市のビッグパレットふくしまで、毎年恒例となっている県営繕担当職員との技術研修会を開催した。

県の本庁営繕設備グループと各建設事務所から十一名、協会各支部から六名の技術者と役員らが出席し、午後四時まで現場での課題や技術提案な

はじめに技術委員会担当の八巻正隆副会長が「この研修会は、今回で五回目を迎える。きょうの成果をあくからの仕事に役立てていただきたい」とあいさつした。また、県側を代表して県土木建築領域営繕設備グループの桑山一雄主任主

査が「監督員と皆さん方技術者の意志の疎通を図り、より良いものづくりができる現場環境となるよう研修を進めたい」と述べた。

このあと桑山主任主査と関根一親氏（常興電機（株）工事課主任）が座長となつて、太陽光や風力など新エネルギー設備の導入状況やコスト効果、改修工事工期設定など質疑事項十八議題、省エネ機器や工法の見直しなど提案事項五議題について意見交換を行った。



太陽光・風力ハイブリッドの外灯



迎春

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

**ワム**

株式会社山形電機製作所  
福島営業所 所長 渡辺良邦

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101  
TEL (024) 546-1321 FAX (024) 546-1322  
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島  
工場/山形・北海道千歳

私たちの仕事は  
安全で円滑な交通環境づくり。

交通管制システム機器・交通信号機・交通情報提供装置

株式会社 **京三製作所**

仙台支店 TEL(022)262-3245 FAX(022)223-5708  
URL http://www.kyosan.co.jp

営業品目 受配電盤・制御盤・監視盤・FAシステム  
ビル監視システム・分電盤・開閉器盤

**TOWA**

東和電機工業株式会社  
郡山営業所 所長 蒔苗 聡  
福島県郡山市開成5-18-20 〒963-8851  
TEL(024)933-3299 FAX(024)934-5178  
本社・青森工場 〒038-1216  
青森県南津軽郡藤崎町大字神字和田88-1  
TEL(0172)69-5111 FAX(0172)69-5122

**安全と信頼**

**日本信号株式会社**

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品  
●入退館システム

■東北支店  
〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)  
TEL(022)261-8371(代) FAX(022)225-4627

配電盤  
制御システムメーカー

**FURUKAWA**

古川電気工業株式会社  
郡山支店  
支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23・TEL(024)934-0859  
FAX(024)934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10  
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10  
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌



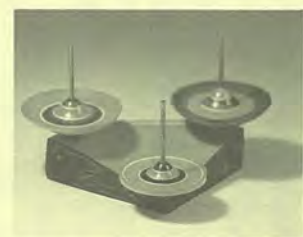


自転車男子Tスプリントで金メダルの日本男子チーム（中央が新田選手）  
写真提供：共同通信社

### 新田選手に金メダル

アジアカ大会  
自転車男子Tスプリント  
当会会員(株)光電設社長  
新田一則氏長男祐大さん  
は、昨年十二月十日ドー  
ハ・アジア大会の自転車  
競技男子チームスプリン  
トに出場し、見事金メダ  
ルを獲得する快挙を成し  
遂げました。

翌日の地元紙の第一面  
に大きく報道され、皆等  
しく感激したところで  
す。チームスプリント競  
技は、オリンピックにも  
ある種目であり一チーム  
三名で編成され、バンク  
三周のタイムで競われる  
レース。  
各チームの選手が一周  
回すつ先頭を引いた後に



えてくれた才能とサポー  
トは勿論ですが、祐大さ  
ん自身の長期に亘る努力  
に敬意を表すると共に、  
今後の益々のご活躍を期  
待します。(記・梅澤利  
夫 広報委員長)

### 編集後記

広報委員  
渡部昌彦

今回は支部旅行の時の  
ゴルフ組の奮闘記です。  
時は平成十八年十一月  
二十七日、天候は曇り、  
気温二三度。つい先だっ  
て世界ランキング一位の

タイガーウッズが、ダン  
ロップフェニックススト  
ナメントで白熱の戦いを  
繰り広げた聖地フェニッ  
クスカントリークラブ。  
全員で記念撮影の後、  
早速、支部長のパーティ  
ーからスタート。続いて、  
私たちのパーティ  
ー。ドライバーを握り締  
め、いざ憧れのティーク  
ランドへ。「おうりゃあ  
〜」第一打は無常にも左  
の松林の中へ。それでも  
何とかポストスタート。向  
かえた四番ミドルホー  
ル。タイガーが林越えで  
ワンオンしたお馴染みの  
ホール。「よし、やっ  
たるぞ〜」。実力も考え  
ず「おうりゃあ〜」。当  
然の如くホールは林の  
中。「カッコーン・カッ  
コーン」打てども打てど  
も林の中…。十点叩いて  
ホールアウト。  
一緒にまわっている富沢  
くん。これまたぶっ叩  
く。キャディーさん声の  
続く限り「ファー・ファ  
ー」。林を飛び越え隣の  
ホールかと思えば、さら  
にその隣の林の中。帰っ  
てくる頃には息も絶え絶  
え。一人順調だった早川  
くん。ついに捕まったア  
リ地獄。何回打ってもパ  
ンカーから脱出不能。助  
けに行ったらのかと思っ  
たらあなたも入ったのね、  
富沢くん。二人で砂煙の  
競演。  
お疲れ三人組、数え切  
れない位叩いて終了。こ  
れもゴルフされどゴルフ  
ああ楽しいかな!

### 地域社会進展に貢献

(社)福島県建設産業団体連合会  
会長職務代行

三 瓶 英 才



明けましておめでと  
うございます。  
皆様には、お健やか  
に二〇〇七年の新春を  
迎えられましたこと慶  
賀に存じます。

我が国の経済につき  
ましては、十一月二十  
二日の政府の月例報告  
では、景気拡大局面が  
続く予想されており  
ます。  
二〇〇二年二月に始  
まった今回の景気拡大  
は、戦後最長の五十八  
ヶ月となり、「いざな  
ぎ景気(五十七ヶ月)  
を超え、今後も景気拡

大は続くという見方を  
しております。景気拡  
大は、好調な輸出や設  
備投資に支えられ、企  
業部門が牽引し、人件  
費の抑制などリストラ  
を背景としており、国  
民にとっては実感の乏  
しいところでありま  
す。又、都市部と地  
方、大企業と中小企  
業、産業間の景況感に  
も温度差があり、格差  
社会の様相が色濃く表  
れているのが実態であ  
ります。  
さて、県内建設産業  
に目を向けますと、昨

年は色々ありました  
が、前知事を巡る一連  
の不祥事により、建設  
産業の信用、信頼が大  
きく失墜することにな  
りました。台風・集中  
豪雨・地震等、自然災  
害への素早い建設産業  
の対応が幾度となく県  
民の安全・安心・安定  
に寄与してきたこと  
で、献血運動、道  
路・河川の美化清掃、  
主要道路等への花の植  
栽、真冬の雪庇おろ  
し、学童通学の見守り  
活動など、枚挙にいと  
まがないほどボランテ

アや社会貢献に努め  
て参りましたが、社会  
のバッシングは、これ  
らを水泡に帰した感じ  
すらいたします。規範  
や法律の遵守など新た  
な決意のもと一歩から  
努力を行っていく必要  
があると思っております。  
次は、何といたっても  
建設投資の慢性的な減  
少による建設産業の疲  
弊化であります。過当  
競争による採算性を度  
外視した低価格落札・  
ダンピング等の増加、  
利益率の低下などが恒  
常化しております。

このような状況は、  
体力・体質の弱いこと  
ろから侵食していくと  
予想されます。例え  
ば、適正な元・下請負  
関係は維持できるの  
か、労働災害防止は万  
全か、地域住民のため  
の就労の場を提供でき  
るのか、骨材や生コン  
・二次製品等材料費の  
適正価格維持を図れる  
のか、適正な労務管理  
はできるのか、工事の  
適正な品質確保を図れ  
るのか等、非常に懸  
念されることとあり  
ます。また、地域社会を  
支えていた地元建設産  
業が淘汰して大手の商社  
的建設業だけが残るよ  
うなことでは困ります  
ので、当連は連は地域  
社会に生き地域社会に  
安全・安心を創る健全  
な建設産業を目指して  
種々努力をして参る必  
要があります。  
個々の企業も生産性  
の向上、特色あるオリ  
ジナリティの創出、或  
いは新分野の開拓等自  
助努力が大事でありま  
すし、当連連ではこ  
れらを踏まえた経営体  
質強化等、各種事業を  
行って参る所存であ  
ります。  
なお、当連連が母  
体でありますNPO法  
人循環型社会推進セン  
ターでは、住生活の充  
実、コミュニティづく  
り、省資源化等及び住  
民との交流としての蓬  
萊団地における「宅老  
所」や「よりみちホー  
ル」の運営で所期の目  
的を達成すべく努めて  
おります。  
また、県中地区の具  
所感といたします。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！  
当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、  
変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の  
点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。  
何なりとお気軽にご利用下さい。

**財団法人 東北電気保安協会**

福島事業本部	福島市置賜町1-29	☎(024)528-9366
福島事業所	福島市泉字南谷地5-6	☎(024)557-2161
原町事業所	南相馬市原町区上波佐字原田432-1	☎(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町福川原1	☎(024)932-6054
白河事業所	白河市東三坂山2-47	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42-1	☎(0246)36-1177
若松事業所	会津若松市北町大字上荒久田字村北147	☎(0242)32-3350
田島事業所	南会津郡南会津町田島字南下原66-1	☎(0241)62-4847
須賀川事業所	須賀川市西川字後田78-5	☎(0248)72-9120

電気技術総合コンサルタント!!  
自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。

**法人 東北電気管理技術者協会**

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレジザ仙台ビル ☎(022)261-6015

福島県支部	伊達郡川俣町飯坂字戸ノ内5-3	☎(024)566-3087
福島電気管理センター	二本松市油井字漆原町42	☎(0243)22-2674
郡山電気管理センター	郡山市日和町字日向84-5	☎(024)958-5203
会津電気管理センター	会津若松市河東町谷沢字十文字53	☎(0242)75-2518
相双電気管理センター	南相馬市原町区仲町一丁目157	☎(0244)22-2817
白河電気管理センター	白河市東釜子字枇杷山68-3	☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター	いわき市明治団地46-5	☎(0246)23-4429

高効率、高演色、省エネのセラルクス!!  
セラミックメタルハライドランプ  
70W・150W・250W・400W  
**CERALUX**

**岩崎電気株式会社** <http://www.iwasaki.co.jp/>  
郡山営業所/〒963-8046 郡山市町東3丁目103番 TEL.024(961)2292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器  
電線管及び付属品・電設資材一式卸

**戸部電材株式会社**

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13  
TEL(022)783-8181

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3丁目12-3	☎(024)553-8551代
■郡山営業所	郡山市大槻町下町東52	☎(024)961-6667代
■いわき営業所	いわき市鹿島町御代大一田1-1	☎(0246)76-1056代
■原町営業所	南相馬市原町区北原字本屋敷153	☎(0244)23-6106代
■相馬営業所	相馬市榎木字北原104-1	☎(0244)35-6350代

電設資材全般卸  
地域と共に歩む

**東芝電材マーケティング株式会社**  
東北電材社

福島支店

福島営業所	TEL(024)553-4165
開発営業所	TEL(024)553-4165
相馬営業所	TEL(0244)36-8901
郡山営業所	TEL(024)934-3065
白河営業所	TEL(0248)21-0360
いわき営業所	TEL(0246)75-0700

技術と信用を誇る  
電気、機械の総合メーカー!!

**DAIZEN**

**大全電機株式会社**

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号  
TEL(022)288-0701代 FAX(022)288-0705